

政策分析シート（令和8年度）

政策名		良好で快適な生活環境の形成			政策No	08		部名	防災都市づくり部			
								部長名	諸角	内線	2800	
関連部名		環境清掃部										
行政評価事業体系		分野	Ⅳ 環境先進都市									
目的	住みたい、いつまでも住み続けたい街の実現を目指して、花と緑あふれ、うるおいと安らぎの場を区民に提供し、安全で快適な生活環境の充実に取り組むとともに、細街路の拡幅や道路の適正な維持管理、まちの環境美化等を進め、良好な住環境の維持・向上を図る。											
指標	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文						
			5年度	6年度	7年度							
	①	生活環境の充実	3.24	3.27	3.34	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？						
	②	まちなみの良さ	3.04	3.06	3.10	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？						
	③	周辺環境の快適さ	3.08	3.07	3.05	お住まいの地域で、生活する上での不快感を感じますか？						
	④											
	⑤											
	⑥											
	⑦											
	政策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明				
			5年度	6年度	7年度	8年度見込み	目標値(8年度)					
	①	公園・児童遊園面積（ha）	45.3	45.2	45.2	45.3	48.0					
	②	住みよいと感じる人の割合（％）	93	90	92	95	－	区政世論調査				
	③	細街路後退用地整備率（％）	49	50	51	52	52	整備延長／整備対象道路延長両側（自主整備含む）				
	④											
⑤												
⑥												
⑦												

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		6年度	7年度	差額	勘定科目		6年度	7年度	差額
	行政費用	給与関係費	438,365	534,552	96,187	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	1,029,244	1,159,204	129,960		国庫支出金	8,930	10,655	1,725
		維持補修費	465,883	612,712	146,829		都支出金	45,394	81,533	36,139
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	3,337	0	▲ 3,337
		補助費等	101,000	140,528	39,528		使用料及び手数料	1,111,023	1,155,447	44,424
		減価償却費	426,390	407,284	▲ 19,106		その他行政収入	142,419	226,044	83,625
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	1,311,103	1,473,679	162,576
		賞与・退職給与引当金繰入額	62,004	104,108	42,104		行政収支差額(a)－(b)＝(c)	▲ 2,044,686	▲ 2,300,162	▲ 255,476
		その他行政費用	832,903	815,453	▲ 17,450		金融収支差額(d)	▲ 627	▲ 567	60
	行政費用合計(b)	3,355,789	3,773,841	418,052	通常収支差額(c)＋(d)＝(e)	▲ 2,045,313	▲ 2,300,729	▲ 255,416		
	特別費用(g)	1,148	10,961	9,813	特別収入(f)	1,146	7,214	6,068		
	特別収支差額(f)－(g)＝(h)	▲ 2	▲ 3,747	▲ 3,745	当期収支差額(e)＋(h)	▲ 2,045,315	▲ 2,304,476	▲ 259,161		
貸借対照表	勘定科目		6年度	7年度	差額	勘定科目		6年度	7年度	差額
	流動資産	収入未済	10,193	10,557	364	流動負債	還付未済金	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	6,514	6,574	60
		その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金	24,815	28,671	3,856
	固定資産	有形固定資産	242,022,366	248,106,843	6,084,477	固定負債	その他の流動負債	1,064	1,064	0
		土地	223,136,064	228,905,460	5,769,396		正味財産	342,489	383,027	40,538
		建物	7,901,901	7,971,312	69,411		特別区債	57,135	50,562	▲ 6,573
		建物減価償却累計額	▲ 4,653,765	▲ 4,843,505	▲ 189,740		正味財産の部合計	276,306	324,482	48,176
		工作物等	22,350,654	22,986,291	635,637		退職給与引当金	9,048	7,983	▲ 1,065
		工作物等減価償却累計額	▲ 6,712,489	▲ 6,912,715	▲ 200,226		その他の固定負債			
		無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	374,882	419,336	44,454
		建設仮勘定	353,670	397,512	43,842		正味財産	242,032,948	248,114,579	6,081,631
		その他の固定資産	21,601	19,003	▲ 2,598		正味財産の部合計	242,032,948	248,114,579	6,081,631
	資産の部合計	242,407,830	248,533,915	6,126,085	負債及び正味財産の部合計	242,407,830	248,533,915	6,126,085		

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用の約3割を道路や公園、児童遊園の管理に係る経費や区営住宅の運営に係る経費にあたる物件費が占め、約1割6分を道路の改修事業等に係る維持補修費が占めている。

○有形固定資産が大幅に増加しているが、これは都市計画公園事業用地の取得に伴うものである。

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	○『荒川区花と緑の基本計画』に基づき、公園等面積55.2haを目指し、平成6年度には20.3haであった公園等の面積を着実に増加させている。令和6年度には町屋公園整備のために尾竹橋公園を一旦廃止したが、荒川四丁目公園の新設や荒川二丁目公園の拡張を実施した。 ○令和4年度の路面下空洞調査により発見した空洞について順次補修を行っている。また、都電荒川線沿線をバラで包み込み、美しい景観の創出や区民の心に潤いや安らぎを与えるため、バラの継続的な維持管理と充実に取り組んでいる（令和7、8年度の2カ年でプランターの大型化とつるバラの植栽を実施）。 ○居住環境については過去、住商工が共存していたが、再開発事業の進展や民間マンションの建設等によるまちづくりが進んできている。
課題	○『荒川区花と緑の基本計画』で目標に掲げている公園等面積を確保するためには、引き続き、公園等を整備する必要がある。 ○区民の最も身近な都市施設である道路をいつまでも安全かつ安心して利用できるよう、適正な維持管理及び拡幅・改修等の整備を行う必要がある。また、都電のバラについては、より華やかさを演出できるよう、植栽の工夫を行うとともに、バラを区民と育てていくため、その担い手である「荒川バラの会」の活動により一層充実させる必要がある。 ○定住人口の維持・促進を図るため、高齢者・障がい者・子育て世代などの住宅確保要配慮者を含め、誰もが安全安心で快適に暮らせる居住環境を整備する必要がある。
今後の方向性	○都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、防災や防犯の観点を持って、地域バランスを考慮しつつ、今後更なる公園等の整備に努め、花と緑を通して幸せを実感できる街づくりを推進していく。 ○通常の維持管理や道路ストック総点検の結果に基づく計画的な補修を行う。また、都電のバラについては補助90号線緑道の整備に合わせて充実を行うとともに、ボランティア活動の活性化を図るなど、住みやすく快適な街を形成していく。 ○下町の風情を残した街並みを生かしながら、新たな開発と調和した居住環境の整備及び魅力ある景観づくりを推進していく。

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
緑とうるおい豊かな生活環境づくり	重点的に推進	重点的に推進	心豊かな区民生活に寄与するために、公園等の整備を促進するとともに、官民協働により花と緑のまちづくりを推進する必要がある。また、地域の防災性向上のために、目標とする公園等の面積確保に向けて積極的に取り組む必要がある。
快適な居住環境の形成	推進	推進	良質で良好な居住環境を確保し、快適に暮らせる街づくりの取組みを推進する。
快適な生活道路の整備	推進	推進	環境に配慮した道路の整備、バリアフリーに対応した道路施設の整備を進めるとともに、適切な維持管理を行っていく。
まちの美化の推進	推進	推進	区民が安心して暮らせる環境を守るため、各部や関係機関と連携を図り、区民の健康と安全の確保に努めることは、基幹自治体である区の責務であり、本施策を推進する。